

下水汚泥資源の肥料利用シンポジウム

日 時：令和5年8月8日（火）14：00～16：45

場 所：農林水産省 7階講堂（オンライン併用）

1 開会

（1）開会挨拶

- ①農林水産省 大臣官房審議官（技術・環境） 秋葉 一彦
- ②国土交通省 水管理・国土保全局下水道部長 松原 誠

2 第1部 取組事例の紹介

（1）農林水産省・国土交通省からの情報提供

- ①下水汚泥資源の肥料利用に向けた動きについて
- ②下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けて
- ③汚泥資源の肥料利用について
- ④国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組

（2）取組事例の紹介

- ①「鶴岡コンポスト」やBISTRO下水道の取組について（鶴岡市）
- ②「こうべ再生リン」プロジェクトについて（神戸市）
- ③地域バイオマスを活用した新たな汚泥肥料について（鹿児島市、霧島市）
- ④MAP 混合液肥の製造と利用に関するモデル実証について（日田市）
- ⑤肥効見える化システムの構築及び実証について（高島市）

（3）質疑応答

（休 憩）

3 第2部 パネルディスカッション

「循環型社会の構築に向けた下水汚泥資源を利用した肥料の活用」
モデレーター

東京大学大学院 工学系研究科特任准教授 加藤 裕之

4 閉会

【配付資料】

- 資料 1 シンポジウムの講演者一覧
- 資料 2 下水汚泥資源の肥料利用に向けた動きについて
- 資料 3 下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けて
- 資料 4 汚泥資源の肥料利用について
- 資料 5 国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組
- 資料 6 鶴岡市の取組事例
- 資料 7 神戸市下水道事業における汚泥肥料化の推進
- 資料 8 下水汚泥と地域バイオマスから調整した肥料の取組事例と今後の展開
- 資料 9 大分県日田市におけるMAP混合液肥の製造と利用に関するモデル実証
- 資料10 汚泥肥料の肥効特性の解明と肥効見える化システムの構築及び実証
- 参考 e肥料パンフレット